

花巻まりか

好きなとこ いっぱいあるよきみのこと 考えながら作った花束

血や涙 私のものはずなのに ママが少しだけいつも混じった

たんぽぽの綿毛優しく吹く時に浮かぶ生まれたばかりの弟

東京で何かのフリをすることが上手くなってく私は迷子

クーラーは色んな熱を冷ましてる時々恥ずかしい時もある

電車にもおうちがあって良かったね全部夕焼け色に染まって

おかえりもただいまもない玄関は入口出口どっちか迷う

君は月みたいだけれど僕といる時は太陽みたいに笑うね

透明なネイルを塗った指先が少し可愛いだいぶ嬉しい

君のこと諦めちゃったと言われたらとても寂しくなった夕暮れ